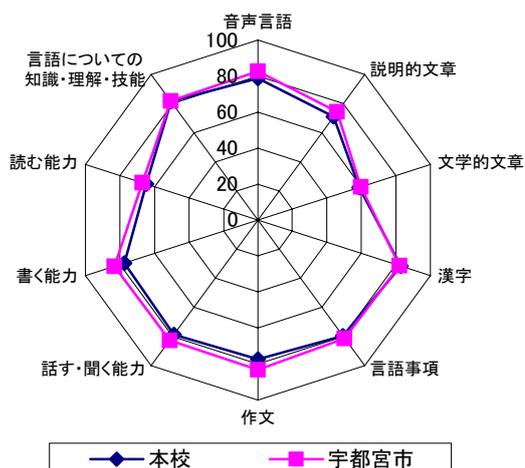


# 宇都宮市立宝木小学校第5学年【国語】領域別／観点別正答率

## ★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	78.6	82.7
	説明的文章	70.9	74.4
	文学的文章	58.6	59.5
	漢字	82.8	82.0
	言語事項	79.5	81.2
	作文	77.3	83.1
観点別	話す・聞く能力	78.6	82.7
	書く能力	77.3	83.1
	読む能力	64.8	66.9
	言語についての知識・理解・技能	81.5	81.7



## ★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (78.6%)	・平均正答率は、市平均正答率の正答率より下回っている。特に話の内容の聞き取りに関する設問の正答率が低かった。	・話を聞くときに、話の中心や話し手の意図、話の内容を聞き取ることができるよう「話を聞く態度」から意識させたい。各教科の授業や日常生活において重点的に指導していくようにする。
説明的文章 (70.9%)	・平均正答率は市平均正答率より下回っている。特に接続語の補充や文脈に即した内容の理解に関する設問の正答率が低かった。	・説明文の学習では、段落の要点を簡潔にまとめ、段落と段落がどのように関連し、つながっているのか考えさせることに重点を置いていく。接続語については作文でも使い方を意識させていきたい。
文学的文章 (58.6%)	・平均正答率は、市平均正答率よりわずかに下回っている。場面の移り変わりの理解は低い。場面を考えて語句を補充することに関する正答率は高い。	・朝の学習や家庭学習で読書をすることを薦め、文学的な文章に慣れ親しむ機会を多くする。授業では、文脈に即して情景や話の流れ、場面の移り変わりを考えさせる。
漢字 (82.8%)	・平均正答率は、市平均正答率より上回っている。第4学年の漢字の書きや第5学年の漢字の読みは高いが、第5学年の漢字の書きが低い。	・朝の学習や家庭学習で漢字練習や短文作り等を継続的に行い、定着を図っていく。各教科においても習った漢字は使用するように意識させていく。小テスト等で児童自身の定着の確認を行わせる。
言語事項 (79.5%)	・平均正答率は、市平均正答率より下回っている。特に品詞の識別や言葉の意味に関する設問の正答率が低かった。	・国語科に関わらず、文章中に意味の分からない語句が出たときには辞書を引いて調べる習慣を身につけさせる。文法についての練習問題を行い、品詞の識別について定着を図る。
作文 (77.3%)	・平均正答率は、市平均正答率より下回っている。手紙の形式にそって挨拶や目的などを入れた手紙を書くことができていない。	・相手や目的に応じた手紙を書く機会を設け、形式を理解させるとともに、適切な内容の手紙が書けるよう指導していく。朝の学習や家庭学習でテーマを決めた短作文を書かせ、書く力を高める。